

DEMETER 衛星の電子・イオン密度および温度データを用いた地震先行電離圏擾乱の研究

Investigation of preseismic- ionospheric disturbance observed by the DEMETERs

新田 英智^{1*}; 東郷 翔帆¹; 鴨川 仁¹; Berthelier Jean-Jacques²; 児玉 哲哉³
NITTA, Hidetoshi^{1*}; TOGO, Shoho¹; KAMOGAWA, Masashi¹; BERTHELIER, Jean-jacques²;
KODAMA, Tetsuya³

¹ 東京学芸大学教育学部物理学科, ²LATMOS, France, ³ 宇宙航空研究開発機構宇宙利用ミッション本部地球観測研究センター

¹Dpt. of Phys., Tokyo Gakugei Univ., ²LATMOS, France, ³Earth Observation Research Center, Space Applications Mission Directorate, Japan Space Exploration A

地震に関連する電磁気現象として大気圏および電離圏擾乱は 1980 年代後半ごろから指摘されてきた。近年では、地上観測のみならず 2004 年 6 月にフランス CNES によって地震電磁気衛星 DEMETER が打ち上げられ、地震に先行する夜間 VLF 帯電磁波強度減少現象が統計的結果として得られている。本研究では ISL や IAP を用いて superposed epoch analysis を行い、先行研究で指摘されている先行現象が存在するかの評価を行う。

キーワード: 地震, 電離圏, 衛星

Keywords: Earthquake, Ionosphere, DEMETER